

(別添)

中津市地域通訳士育成等計画

1. 作成主体

中津市

2. 区域

中津市全域

3. 名称

中津市地域通訳案内士

4. 外国語

英語

5. 地域通訳案内士導入の経緯

平成30年の中津市の外国人の延べ宿泊者数は4,097人に達し、前年比40%増の大きな伸びを見せています。これは現在、国が進めています「明日の日本を支える観光ビジョン」実現に向けた様々な取組みによるものが大きく、中津市も平成30年9月に策定した中津市観光振興計画「な活観光のすゝめ」にもラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックの国際的なイベントについて中津市をPRする絶好の機会と捉え、情報発信や誘客活動のほかにも外国人旅行客の受入態勢の整備に取り組むこととしています。

現状では本市において全国通訳案内士を確保できておらず、今後さらなる外国人旅行客の誘客・満足度向上を図るうえで、市内の通訳案内士を図る必要があります。

特に、ラグビーワールドカップ2019日本大会では、大分県内で5試合開催されるなど、欧米や大洋州からの外国人旅行客が多く見込まれるなか、平成29年4月に「やばけい遊覧～大地に描いた山水絵巻の道をゆく～」として日本遺産に認定された歴史や文化を十分に理解し、楽しんでいただけるよう外国語での質の高いガイドスキルを有するガイドの育成が急務と考え、中津市では「地域通訳案内士」制度を活用して育成講座を開催して、優れた能力を取得したものを「中津市地域通訳案内士」として登録し、外国人旅行客の受け入れ体制充実を図りたいと考えております。

6. 研修実施に係る事項

(1) 求めるべき外国語能力

中津市地域通訳案内士に求める英語の能力は次のとおりとする。

TOEIC 600点以上相当

※日本語以外の言語を母語とする者は、日本語能力試験N2級以上の能力を有していること。

(2) 実施する研修内容等

①研修概要

| 連番 | 研修項目 | 講師 | 研修時間 |
|----|-------------------------|-------------------|---|
| 1 | オリエンテーション | 市職員 | 日本語 0.5時間 |
| 2 | 語学研修 | 市内英会話スクール等事業者 | 英語 4時間 |
| 3 | コミュニケーション・ホスピタリティガイドスキル | 全国通訳案内士 | 英語 3時間 日本語 3時間 両言語計 6時間 |
| 4 | 地域に関する知識 | 市文化財室職員、ガイド | 旧中津市 1.5時間 三光 1.5時間 本耶馬溪 1.5時間 耶馬溪 1.5時間 山国 1.5時間 歴史文化 1時間 日本語計 8.5時間 |
| 5 | 旅程管理 | 全国通訳案内士有資格者 | 日本語 2時間 |
| 6 | 実地研修 | 全国通訳案内士有資格者 | 城下町 3時間 耶馬溪 8時間 英語 計11時間 |
| 7 | 救命措置 | 消防署 | 日本語 3時間 |
| 8 | 効果測定 | ネイティブと全国通訳案内士有資格者 | 1～7計 35時間 |

②研修内容

1. オリエンテーション（研修時間：0.5時間）

研修の開催にあたって説明及び地域通訳案内士制度等の説明を行う。

2. 語学研修（研修時間：4時間）

英語を用いて旅行者とのコミュニケーションを図ることができ、観光案内業務、情報提供、旅行相談等の対応できるレベルの語学研修を行う。

3. コミュニケーション・ホスピタリティスキル・ガイドスキル（研修時間：6時間）

地域通訳案内士としての接遇、外国人観光客の特徴、習慣、マナーに関する知識、観光客の立場に立ったおもてなしの心構えなどについて研修を英語と日本語で行う。

4. 地域に関する知識（研修時間：8.5時間）

中津の歴史、文化、産業などの地域学、観光資源や食文化について講義形式で研修を行う。

5. 旅程管理（研修時間：2時間）

全国通訳案内士有資格者による旅程管理研修を行う。旅行者の移動の円滑化に関する知識、安全対策及び事故発生時の対応に関する事務処理能力についての研修を行う。

6. 実地研修（研修時間：11時間）

英語で行う模擬ツアー等におけるガイドスキル向上の研修を行う。

7. 救命措置（研修時間：3時間）

中津市消防本部が開催している「普通救命講習」を受講させることでAEDの取扱いや応急（救命）手当の知識・技術を取得させる。

③効果測定の実施内容

研修受講時間30時間以上を受講した者に対して、1人あたり10分程度の実技方式の効果測定を実施する。ただしオリエンテーション、コミュニケーション・ホスピタリティガイドスキル、旅程管理、実地研修、救命措置は必修科目とする。

審査員は、全国通訳案内士有資格者等が務め、研修の理解度を測るほか、英語によるプレゼンテーション能力、ガイド能力についても審査する。

④実施時期

| 内容 | 実施時期 | 備考 |
|------------|-------|---------------------|
| 研修実施に向けた準備 | 4月～6月 | 委託業者の決定 研修講師等の調整 |
| 研修受講者募集の時期 | 6月 | 市報、市HP等で募集 |
| 研修 | 7月～9月 | |
| 地域通訳案内士の登録 | 9月 | |

7. 地域通訳案内士簿を備える一の市町村又は都道府県

中津市

8. 登録後の地域通訳案内士の育成

中津市地域通訳案内士有資格者に対し、中津市地域通訳案内士対象の定期研修（英語講座やガイド研修）等へ参加を促し、中津市地域通訳案内士のガイド能力等の維持・向上を図る。

なお、令和元年から3年度までの登録者数は下記のとおり

| 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------|-------|-------|
| 10名 | 10名 | 10名 |

1人あたりの利用回数は、令和元年度は5回、令和2年度、令和3年度は10回を目標とする。

9. 地域通訳案内士の活用方法

中津市ホームページや中津耶馬溪観光協会ホームページ等で地域通訳案内士に関する情報を旅行会社に提供し、地域通訳案内士の活用を促進させる。

また認定者には全国通訳案内士について周知し、さらなるスキルアップを図る。